

# 令和4年度事業活動実績

## I. 公益事業報告

### 1. パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

#### (1) 調査・研究事業

「SDGs とパッケージデザイン」を共通テーマに、ユニバーサルデザイン／ローカルパッケージ／若い世代の商品選択、それぞれの分科会で情報収集・整理を進めた。これらの成果を順次、JPDA ライブラリーサイト「情報の森」に掲載し発信をおこなった。

#### (2) 広報事業

年度前半に、各事業を企画運営する委員会の活動趣旨を伝える見開きパンフレットを作成、配布した。年度末には、「JPDA MAGAZINE Vol.9」を発刊、アニュアルマガジンとして1年間のJPDA活動を伝える内容とした。

#### (3) インターネット事業

インターネットメディアを活用してJPDA事業に関する広報活動、会員作品紹介ページ「マイワークス」の運営を進めた。ニュースリリース配信では、「日本パッケージデザイン大賞2023」をはじめ、学生賞、功績賞など顕彰事業の発信に注力した。また、国際化の一環として、英語ページの機能を強化、NEWS欄での発信を始めた。

### 2. パッケージデザインに関する表彰についての公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業及び、パッケージデザインに功績のあった人並びに団体の顕彰等

#### (1) 日本パッケージデザイン大賞

「日本パッケージデザイン大賞2023」の作品募集、作品審査、贈賞式などをおこなった。応募総数は1060点を数え、6月の一次審査(オンライン)で、入賞作416点を選出。8月の二次審査(実物審査)の結果、大賞、金賞、銀賞、銅賞、特別審査員賞、あわせて34点の入賞作を選出した。前回2021ではコロナ禍で開催見送りとなった贈賞式を今回は2月に開催、大賞受賞者によるトークショーも実施した。

これまでの大賞・金賞受賞作品の収集保管研究を主としたアーカイブ活動も継続、資料貸出運用手順の整備も進めた。過去の受賞者を対象にしたインタビュー動画「声のアーカイブ」は、第8回、第9回を会員サイトに掲載、また研究セミナーとして、ロッテ・チューイングガムのデザイン変遷をたどるセミナーを8月に開催した。(アーカイブ活動は、来期から広報事業に位置づける)

#### (2) JPDA パッケージデザイン功績賞

前年度にパッケージデザイン功績賞の選考をし、その後亡くなられた仲條正義氏の長きにわたるパッケージデザイン活動を顕彰した。贈賞記念講演会では、同氏のデザイン活動と縁の深い澁谷克彦氏、鈴木真氏を招き、信藤洋二副理事長の進行で、活動成果とその価値を振り返るパネルディスカッションを開催した。

#### (3) 日本パッケージデザイン学生賞

将来を担う学生にフォーカスした「第一回日本パッケージデザイン学生賞」を開催、周知を兼ねたワークショップも各地でおこない、295名(56校)の応募となった。一次二次の審査を経て、入選82点、入賞21点を選出、12月には入賞者を招き授賞式を開催した。入賞作品は、2023年5月刊行予定の「年鑑日本のパッケージデザイン2023」に掲載される。

### 3. パッケージデザインに関する展覧会事業

今期は、2023 年度に開催する創作展の企画立案など準備を進めた。日本人の暮らしや文化と密接に関わってきた「水 塩 米 酒」をテーマにした創作パッケージデザイン展に決定し、新年度以降に作品募集を開始することとした。

### 4. パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

#### (1) セミナー事業

##### (a) オンラインセミナー

ヘルシンキ在住のデザイナー遠藤悦郎氏を講師に、「フィンランド デザインにまつわる思索の旅」と題した海外オンラインセミナーを、12 月と 1 月の 2 回シリーズとして現地と生中継で開催した。1 回目「暮らしとデザイン」、2 回目「学びとデザイン」をテーマに、生活、教育など幅広い視点のセミナーとなった。

##### (b) 東日本

若手中堅デザイナーを対象にしたパッケージの新たな可能性をテーマにしたセミナーイベントとして、「トークカフェ」を 3 月に開催した。今回は、日本トップクラスのカリグラファーを招いてのワークショップとトークセッション。文字の美しさ、力強さを理解し、体験することでさらに知識を深める機会となった。

##### (c) 西日本

7 月にハイブリッド開催の勉強会、11 月にリアル参加の見学会を開催した。

Vol.1…京都会場とオンラインで結んでのハイブリッド勉強会を 7 月に開催、JPDA 小川亮理事長を講師に、デジタル化が進む中でのパッケージデザインや、パッケージデザイナーに求められることの変化などを考える勉強会とした。

Vol.2…パナソニックミュージアム(大阪)のリアル見学会を 11 月に開催、松下幸之助とパナソニックのものづくりイズムを学ぶとともに参加者のビジネス交流の機会ともした。

##### (d) 中日本

①愛知・岐阜地区…令和 5 年 3 月に「日本パッケージデザイン大賞 2023 巡回展 in NAGOYA」を国際デザインセンターで開催した。入賞作品のほか、中部地方の企業による入賞作品も展示し、地域のデザインをアピールする機会とした。トークセッションは諸事情で開催見送りとなった。

②北陸地区…富山市主催の富山デザインフェア 2022(10 月)に参画、「富山の〇〇を包む」をテーマにしたパッケージデザインコンペティション(学生対象、応募 168 点)で選出された入賞作品展を開催。また、期間中に田中良治氏を招き「光るグラフィック」というテーマでデザインセミナーを開催した。

③北陸地区…次世代を担う若手と学生を対象としたトークイベントを富山と金沢で隔年開催している。今年度は、10 月に金沢美術工芸大学にて、北欧パッケージに詳しい加藤真弘氏を講師に「JPDA Talk cafe 2022 in KANAZAWA」を開催した。

#### (2) 権利保護事業

知的財産権に関する情報発信では、JPDA ライブラリーサイト「デザインの権利と保護」コーナーを活用し、今年度は「知財くんがゆく」と名付けた新連載を開始、意匠、商標に関する話題を計 3 回発信した。

また、意匠法改正に伴い、デザイン保護ハンドブックの改訂版を 2023 年度に発行するため、内容精査・原稿準備を進めた。

### (3) 育成事業

「パッケージデザインの学校 2023」をオンラインで開催。前年度に続き「最強の発注者になる」のコンセプトのもと、今年度は「ブランドとパッケージデザイン」をメインテーマとして、12月の記念講座を皮切りに、3月までに計10講座を開講した。コーポレートブランド、プロダクトブランド、地域ブランドなど、ブランドオーナー、パッケージデザイナー双方の専門家による講座で好評を得た。

## 5. パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

### (1) 全国会議事業

オンライン交流会「みんなでつなごう！デザインの輪！」は、7月に竹本容器、11月に永島学デザイン室、3月にサントリーをオンラインで訪問。オンラインだからこそ、地理的な制約なく各地会員のオフィス訪問が可能で、それぞれの地域特性、パーソナリティの魅力、法人会員企業の海外ネットワークなど、多様な会員の知見を活用しあえる交流企画となっている。

### (2) 新年交流事業

#### (a) 東日本新年交流会講演会

当初リアル開催を計画していたが、コロナ第8波の影響がありオンラインに変更し、1月に開催した。第1部は、アニメーション監督の米林宏昌氏による講演会で、企画立ち上げからスタッフィング、作品をどう仕立てていくかなど、パッケージ制作に通ずる内容であった。第2部では、オンラインの特性を活かし、各地会員からのメッセージリレーと参加者同士の交流会で、新たな出会いの機会ともなった。

#### (b) 西日本交流勉強会 Vol.3 新年交流セミナー

3月に勉強会交流会を大阪にてリアル開催した。勉強会は、グラフィックデザイナー新村則人氏の講演。30年にわたって手がけるプロジェクトなど多くの事例と制作プロセスをご披露いただいた。交流会は、久々の対面での開催が実現し、活発な情報交換、交流を図ることができた。

### (3) 国際交流事業

当初計画を変更し、日本のパッケージデザイントレンドを海外に向けて発信することとした。アジアパッケージデザイン会議(APD)で協力関係にある台湾パッケージデザイン協会(TPDA)の展覧会イベント「寶島包装節(2023年4月8日～10日 台北にて開催)」にJPDAの参加を依頼されたことから、SDGs視点でみる日本のパッケージデザイン事例紹介の準備を進めた。5つの事例を紹介する動画(台湾語字幕付)を制作、パッケージの現物をTPDAへ提供するなど、イベントでの活用を通じて日本のパッケージデザインの認知拡大を図ることとした。

### (4) 東日本大震災復興支援事業

東北地方復興支援の一環として、今期も引き続き、経済産業省東北産業局主催「TOHOKU デザイン創造・活用支援事業」(おいしい東北)に参画、パッケージデザインセミナー講師派遣の協力をした。

## 6. パッケージデザインに関する出版事業

日本パッケージデザイン大賞 2023 の入賞・入選作品 416 点を掲載する「年鑑日本のパッケージデザイン 2023」は、2023 年 5 月発刊をめざして企画制作を進めた。今回は特集として、第一回日本パッケージデザイン学生賞 2022 の全受賞作品及び記念座談会を掲載している。

年鑑と隔年刊行しているパッケージデザイン作品集「PACKAGE DESIGN INDEX 2022」は、前年度に編集作業を進め、2022年5月に刊行となった。701作品を収録している。今年度、新企画本として計画していた「ステキなパッケージ」は、企画に合致した出版社が見つからず、来年度の継続企画とした。一方、前年度に計画した60周年企画展作品集は、企画変更した「パッケージデザインのひみつ」として2023年5月出版の目処がたったことから、その編集作業を進めた。

## II. 収益事業報告

### 収益事業

#### アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

平成27年6月、(独)国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託することで変更認定を受けたが、令和2年度になり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アスパックの全ての事業が中止となり、令和3年3月をもって主催者であり事業の受託元であるアスパック協会も解散となったことから、当協会の収益事業も中止となっている。昨期に続き、これに代わる新たな収益事業の探索・検討をしたが、具体化まではできていない。

## III. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

### 1. 経済産業省・厚生労働省

令和4年7月「感染症拡大によるデザイン業界への影響について」(4月～6月)に関するアンケート協力

令和4年8月「2023年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動」等に関するアンケート協力

令和4年10月「感染症拡大によるデザイン業界への影響について」(7月～9月)に関するアンケート協力

令和5年1月「感染症拡大によるデザイン業界への影響について」(10月～12月)に関するアンケート協力

令和5年2月『事例に学ぶ「地域・自治体×デザイン」セミナー』オブザーバー参加

令和4年4月～令和5年3月 新型コロナウイルス感染症に関する情報をはじめ、会員への周知依頼に対応、協会ウェブサイトに掲載するとともに会員メールにて情報配信を行なった。

### 2. 日本デザイン団体協議会(D-8)

#### (1) D-8 運営会議

令和4年4月18日 (オンライン 伊藤理事長、井上副理事長)

令和4年7月19日 (オンライン 小川理事長、信藤副理事長)

令和4年9月20日 (オンライン 小川理事長、信藤副理事長)

令和4年11月15日 (オンライン 小川理事長、信藤副理事長)

令和5年1月17日 (オンライン 小川理事長、信藤副理事長)

令和5年3月22日 (小川理事長、信藤副理事長))

#### (2) 豊島区制90周年「街中まるごと～ミュージアム～池袋」イベント協力

令和4年11月1日～6日 パネルディスカッション(池袋サンシャインシティ)、展示およびトークショー(トキワ荘マンガミュージアム) (信藤副理事長、入江理事、柴野委員、飯塚委員)

#### (3) ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会(JDM 委員会)

令和4年4月20日 (オンライン 柴野委員)

令和4年5月18日 (オンライン 柴野委員)  
令和4年6月15日 (オンライン 柴野委員)  
令和4年7月20日 (ハイブリッド 柴野委員)  
令和4年8月10日 (オンライン 柴野委員)  
令和4年9月21日 (ハイブリッド 柴野委員)  
令和4年10月4日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員)  
令和4年10月12日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員)  
令和4年10月19日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員)  
令和4年11月25日 (オンライン 信藤副理事長、入江理事、松田委員)  
令和5年1月18日 (入江理事、柴野委員)

(4) ジャパンデザイナーズ広報特別委員会

令和4年11月21日 (オンライン 佐野委員)

(5) デザイン保護研究会

令和4年5月26日 (オンライン 飯塚事務局長)  
令和4年7月7日 (オンライン 徳岡委員)  
令和4年9月29日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)  
令和4年11月24日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)  
令和5年1月26日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)

### 3. 外部団体への事業協力

(1) (公社)日本包装技術協会

令和4年6月16日「2022 日本パッケージングコンテスト」審査会 小川理事長(伊藤前理事長が代理出席)

(2) 経済産業省 東北経済産業局

令和4年7月26日「令和4年度 TOHOKU デザイン創造・活用支援事業」(おいしい東北)パッケージデザインセミナーにて加藤前専務理事が講演

(3) 凸版印刷(株) 印刷博物館

令和4年10月30日 P&P ギャラリーで開催の「現代日本のパッケージ 2022」展でのオンライントークショー「パッケージデザインとキャラクターたち」に加藤前専務理事、山崎理事、石原出版委員会委員長が登壇

(4) (一社)日本印刷産業連合会

令和5年2月2日「第62回 2023年ジャパンパッケージングコンペティション」審査会 小川理事長

## IV. 名義関連

(1) 後援名義

- ・「2022 日本パッケージングコンテスト」(主催:(公社)日本包装技術協会)
- ・「第24回福岡デザインアワード」(主催:福岡県産業デザイン協議会)
- ・「World Interiors Week 2022 in Japan」(主催:(公社)日本インテリアデザイナー協会、(公財)日本デザイン振興会)
- ・「パッケージ展 2022」(主催:(公社)大阪産業局)
- ・「コンテンツ東京 2023」(主催:RX Japan(株))
- ・「第16回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」(主催:全日本印刷工業組合連合会)
- ・「第62回 2023年ジャパンパッケージングコンペティション」(主催:(一社)日本印刷産業連合会)

- ・「ビジネスデザイン EXPO2023 Vol.2」(主催:(一社)中部広告制作協会)
- (2) 共催名義
  - ・「富山デザインフェア 2022」(主催:富山市、運営:富山デザインフェア実行委員会)
  - ・「現代日本のパッケージ 2022」(主催:凸版印刷(株)印刷博物館)
- (3) 協賛名義
  - ・「TOKYO PACK 2022 東京国際包装展」(主催:(公社)日本包装技術協会)
  - ・「第 33 回 西日本食品産業創造展 ‘23」(主催:日刊工業新聞社)
  - ・「page2023」(主催:(公社)日本印刷技術協会)
  - ・「第 94 回東京国際・ギフトショー秋 2022」(主催:(株)ビジネスガイド社)
  - ・「第 12 回 LIFE×DESIGN」(主催:(株)ビジネスガイド社)
  - ・「第 95 回東京国際・ギフトショー春 2023」(主催:(株)ビジネスガイド社)
  - ・「第 13 回 LIFE×DESIGN」(主催:(株)ビジネスガイド社)
  - ・「第 51 回日本プロモーション・マーケティング協会展 2022」(主催:(一社)日本プロモーション・マーケティング協会)
- (4) 協力名義
  - ・「ライティング・オブジェ 2022」(主催:ライティング・オブジェ制作委員会)

## V. 会議開催状況

- |                |             |   |
|----------------|-------------|---|
| (1) 総会(第 41 回) | 令和 4 年 5 月  | 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室  |
| (2) 臨時総会       | なし          |   |
| (3) 定例理事会      | 令和 4 年 5 月  | 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室  |
|                | 令和 4 年 7 月  | 文京シビックセンター 会議室 (オンライン併用)  |
|                | 令和 4 年 9 月  | 文京シビックセンター 会議室  |
|                | 令和 4 年 11 月 | 文京シビックセンター 会議室  |
|                | 令和 5 年 1 月  | オンライン   |
|                | 令和 5 年 3 月  | 文京シビックセンター 会議室  |
| (4) 臨時理事会      | 令和 4 年 4 月  | 文京シビックセンター 会議室 (オンライン併用)  |
|                | 令和 4 年 5 月  | 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室  |
| (5) 会員入会審査     | 令和 4 年 5 月  | 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室  |
|                | 令和 4 年 7 月  | 文京シビックセンター 会議室  |
|                | 令和 4 年 9 月  | 文京シビックセンター 会議室  |
|                | 令和 4 年 11 月 | 文京シビックセンター 会議室  |
|                | 令和 5 年 1 月  | オンライン   |
| (6) 各委員会       | 令和 4 年度中    | 調査研究、広報、インターネット、コンペティション、<br>アーカイブ、学生コンペ、展覧会、デザイン保護、育成、出版、総務、及び<br>地域の各事業でオンラインも活用し委員会を開催した |

## VI. 令和4年度会員異動状況

会員別	令和4年3月31日	令和4年4月1日～令和5年3月31日		令和5年3月31日
		入会	退会	
法人会員	231	9	10	230
個人会員	501	12	32	481
賛助会員	4	0	1	3
合計	736	21	43	714

## VII. 報告事項

- (1) 令和4年6月29日 内閣総理大臣あて、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第129条第1項に規定する計算書類等、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第28条第1項第2号、及び法律第38条第1項第2号及び第3号の規定による令和4年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 令和4年6月29日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定による定款の変更、理事、監事、評議員又は会計監査人の氏名若しくは名称の変更。(電子報告)
- (3) 令和5年1月26日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定による定款の変更、理事、監事、評議員又は会計監査人の氏名若しくは名称の変更。(電子報告)
- (4) 令和5年3月31日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定による令和5年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)

以上